



株式会社三井ハイテック
金型事業本部 金型営業統括部

尾崎 映里さん

Ozaki Eri

海外留学を通じて北九州の暮らしやすさを実感しました

北九州市小倉南区出身。台湾留学で身につけた中国語を生かし、三井ハイテックの営業として活躍中。海外出張や技術者との連携など、専門性の高いものづくりの現場で経験を積みながら、自分らしいキャリアを模索している。

北九州で就職したのはなぜ？

4年間台湾の大学に留学していたのですが、ちょうどコロナ禍と重なり、帰省できない不安な時期を過ごしました。その経験もあり「就職するなら地元で」と考えるようになりました。一度外に出たことで、北九州は街の規模感がちょうどよく、交通の便もよくて、暮らしやすい街だと改めて感じました。

就職先の決め手となったのは？

高速道路から当社の看板を見かけていて、「どんな会社なんだろう」と調べてみたのがきっかけです。ホームページの採用情報に、「外国語ができる方歓迎」と書かれていて、チャンスだと思いました。大学2年生の頃、気になる企業数社にメールを送ったことがあったのですが、その対応が一番丁寧だったのが当社で、それも応募した理由のひとつです。

どんな仕事をしているの？

現在入社2年目で、金型事業本部の営業として働いています。中

国語圏のお客様を担当し、海外出張や来客対応、電話やメールでのやり取りを通して、社内の製造や設計の担当者と連携しながら仕事を進めています。金型はお客様ごとに仕様が異なるため、受注前の打ち合わせから関わります。日本語でも初めて聞くような専門用語も多いので、事前に調べて準備することを大切にしています。

仕事のやりがいや大変な点は？

これまでの仕事で一番印象に残っているのは、初めての台湾出張でご相談いただいた案件が、受注に至ったこと。私が担当するまで数年間取引が止まっていたお客様で先輩方も驚いていました。自分の仕事に関係づくりにつながったのかなと思うと、とても嬉しかったです。一方で、海外のお客様との仕事には難しさもあります。価格について十分に説明ができず、商習慣の違いもあり、納得してもらえなかったことで悔しい思いをしました。当社の金型は品質の安定性と納期対応、そして納品後のサポート体制が強みです。そうし

参考にしながら自分に合った働き方を見つけていきたいです。

就活生にアドバイスは！

私は就職活動の際、人事の方の印象や、待遇面などを重視して会社を選びました。正直なところ、当時はものづくりに強い興味があったわけではありません。それでも実際に働いてみると、その中でやりがいを見つけていくことはできると感じています。一方で、大学時代に憧れていたキャビンアテンダントを目指していたら、今頃どんな道に進んでいたのかなと想像することもあります。いずれにせよ自分のスキルを生かせる仕事を選ぶことが、やりがいにつながるのではないのでしょうか。ものづくりの業界は、理系のイメージが強いかもしれませんが、私のように文系出身者でも、語学やコミュニケーション能力を生かせる仕事は多いと思います。自分の仕事や家電など身近な製品の部品の一部になっていると実感できるのは、この仕事の面白さのひとつだと思います。

文系出身者も活躍できる

ものづくり企業がありますよ！



職場の雰囲気や関係性は？

年上の先輩方も多い一方で、同年代の若手もたくさんいます。経験豊富な先輩方についていくのに必死な面もありますが、関係はとてもフラットで丁寧に教えてくださいます。

今後のキャリア形成は？

最近結婚したこともあり、これ

からどんなキャリアを築くのがいいのか考えるようになりました。

以前研修でお世話になった先輩から「結婚して子どもができて、世界を舞台に働く選択肢もある」と言っていたことが印象に残っていて、家庭とのバランスをどう取るか、今まさに考えているところです。社内にはロールモデルとなる女性の先輩もいるので、



た価値を正しく伝えるためにも、語学力をさらに磨いていきたいと思っています。

ワークライフバランスは？

勤務時間は、8時30分から17時15分までで、残業があっても19時頃には退社しています。土日の出勤は基本的になく、有休も取りやすいので、自分で仕事のペースを調整しながらバランスよく働けていると思います。



株式会社三井ハイテック

北九州市八幡西区小嶺 2-10-1
<https://www.mitsui-high-tec.com/>

1949年創業。超精密加工技術を核とする大手開発型ものづくり企業。世界トップクラスのシェアを持つフレーム（半導体部品）や、電動車用モーターコア、精密金型、工作機械の開発・製造・販売を行っており、家電から自動車まで幅広い産業を支えている。